

ティーネのいいね！ドイツ

沼田市国際交流員が教えるドイツ

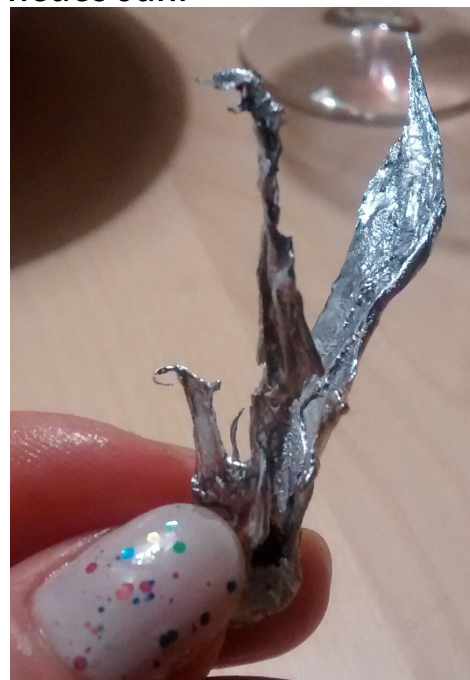
新年の占いゲーム

Silvesterは12月31日の夜のことで、1月1日はNeujahr (Neu=新しい、Jahr=年) と言います。31日、1日と2日は休日なので、クリスマスのように家族と過ごす人もいますが、多くの方は仲の良い友達と一緒に過ごします。31日の夜に友達と家に集まって、時間をかけて晩ご飯を食べます。その後Bleigießenブライギーセンという新年の占いゲームをします。日本語で鉛(Blei)と注ぐ(gießen)という意味になります。遊び方は簡単で、水を張った皿にスプーンの上で溶かした鉛を注ぎ、水中で固まった鉛の形で新年を占うのです。形は固まった鉛をろうそくにかざし、その陰絵で判断するか直接の見た目で判断するか二つの方法があります。何の形



が決まったら、占いセットに付属の冊子で形を調べます。例えばいかりのような形は「困っている時、助けてくれる人が現れます」となりお花の形に見えるなら「新しい友達に出会います」という意味になります。この習慣は古代ローマ時代にも存在していたようです。神託占いといっても現在では決して深刻なものではなく、大晦日の習慣として楽しみながら行われています。ゲームが終わると、皆でテレビを見て、カウントダウンを待ちます。その時によく見

るのは、昨年1月号で紹介した「Dinner for One (1人のためのディナー)」という寸劇の番組です。0時になる10秒前からカウントダウンを始めて、Frohes neues Jahr フローエス ノイエス ヤール (=Happy new year) とお互いに言い合って、スパークリングワインで乾杯します。新年になると花火が始まるので、家の外に出ます。皆は眠くても花火が始まると元気が出ます。そして見るだけではなく、自分でも花火をして、新しい年を歓迎します。ちなみに年末の最後の挨拶としてドイツ人はEinen guten Rutsch ins neue Jahr アイネン・グーテン・ルツチュ・インス・ノイエ・ヤールと言います。新年にうまく滑り込んでねという意味です。Rutschはもともと、東欧系のユダヤ人に用いられるイディッシュ語で「新年の始まり」を表すRoshに由来したものです。Guten Rutschはつまり、「よい新年の始まりを」という意味です。このため、ins neue Jahrは本来ならば余計な言葉となりますが、ドイツ語のRutschも掛け合わせた言葉遊びとして、このような形で定着しています。



Guten Rutsch!
(よい新年を!)



作者：クリスティーネ・バウアー（ティーネ）
問い合わせ：c.bauer@city.numata.gunma.jp
👨‍🍳 クックパッド：沼田市のキッチン